津市の今昔景観集

（津地域編）

掲載趣旨

良好な景観は市民の皆さんの大切な共有財産です。ここに掲載されている景観は過去と現在（平成２２年）を比べたものです。

景観は基本的に時代の流れと共に移ろうものであり、本市にはその流れの中で良好な景観を生み出してきた事例や、逆に良好な景観を失ってきた事例もあります。

ここをご覧になった皆さんには、昔の景観を懐かしく思い出していただくと共に、今後の津市に生まれる未来の景観を思い描いていただき、良好な景観の実現に向けて、今後の景観行政にご理解ご協力いただければと思います。

● 経緯

市では、平成 19 年度に「郷土の元気な景観発見事業」を実施し、市内の良好な景観を収集してきました。その中で、過去の景観に焦点を当てることで、現在の景観の良いところ悪いところが見えてくるのではないかというご意見を市民の方から頂き、平成２０年度に「昔の景観」の写真を広く市民の方に募集させていただきました。

今回は、ご応募いただいた昔の写真と、市の保有する写真の中から、過去の津市と現在の津市（平成 22 年３月～４月）とを比較できるようまとめさせていただきました。

● 写真について

ここに掲載されている写真は、募集にご協力いただいた写真や、本市が所有する資料の中から掲載しています。よって、写真の著作権等は撮影者に有り、本ページに掲載されている写真を営利目的で使用することは固く禁じます。

＜担当窓口＞
津市　都市計画部　都市計画課　景観・緑化推進担当

ＴＥＬ：０５９－２２９－３２９０
E-mail：２２９－３１７７@city.tsu.lg.jp

撮影場所：津城丑寅角櫓

昔（明治初期）

今（平成２２年）

　津城は明治維新後政府の帰属となり、明治１８年に残っていた櫓や多門などがすべて取り払われました。現在は内堀の多くも埋め立てられ、当時の写真から見える東の内堀は市営駐車場となっています。

撮影場所：津城跡北側から旧師範学校

昔（昭和中期ころ）

今（平成２２年）

古い写真は旧師範学校（写真撮影当時は三重大学かと思われる）を内堀北側から撮影したもので、三重大学の移転後は津市役所及びリージョンプラザとなっています。

t -004
提供者：磯部忠一

撮影場所：国道２３号線（丸之内から南側）

昔（昭和後期ころ）

今（平成２２年）

　アーケードの建て替えや一部のビルがなくなっています。市内唯一の百貨店も建て替えられており、国道の樹木も成長しているのがわかります。

撮影場所：国道２３号線（丸之内から北側）

昔（昭和後期ころ）

今（平成２２年）

　左手奥には三重会館が見えます。現在は電線類が地中化され、看板類も整理されてすっきりとしたまちなみになっています。

撮影場所：三重会館からフェニックス通り

昔（昭和中期ころ）

今（平成２２年）

　まだフェニックス通りの両側には高い建物はありませんでした。古い写真にはフェニックスが植えられていないことから、昭和３０年代ころの撮影だと思われます。

撮影場所：国道２３号線（三重会館前から南側）

昔（昭和後期ころ）

今（平成２２年）

　丸之内のショッピングセンターが懐かしいという方も多いのではないでしょうか。現在は取り壊されて更地となっています。

撮影場所：北町からフェニックス通り

昔（昭和中期ころ）

今（平成２２年）

古い写真の右手奥に旧三重会館が見えますが、周辺にはまだ高い建物も少なく、経ヶ峰が近くに見えるような気がします。よく見ると、フェニックスの幼木が植えられている事がわかることから、昭和４０年代以降と思われます。

撮影場所：東丸之内（宿屋町）

昔（明治時代から大正時代）

今（平成２２年）

東丸ノ内（宿屋町）から北側を向いたところと思われます。ここが当時の津市のメインストリートで、現在の国道２３号線やフェニックス通りはまだありません。その名のとおり当時は宿屋が多く集まっていました。奥に見えるのは津観音と思われます。

撮影場所：大門アーケード入口周辺から三重会館を見る

昔（昭和中期ころ）

今（平成２２年）

当時の国道２３号線は現在ほど車の通行が多くなく、のんびりと人が国道を横断する姿も見られます。

t -009
提供者：吉村鏡治

撮影場所：大門町

昔（昭和初期ころ）

今（平成２２年）

　戦災前の津観音と大門の商店街です。現在大門商店街の同部分には、アーケードが設置されており、当時正面に見えていた津観音も今ではほとんど見えない状態になっています。

t -036
提供者：吉川仁

撮影場所：岩田橋北のビル屋上から西側

昔（昭和初期ころ）

今（平成２２年）

岩田川の形状にあまり変化はみられませんが、当時はまだ昭和橋がありません。現在では河川沿いにビルが建ち並び、国道 163 号線沿いには新町商店街が形成されています。

t -039
提供者：吉川仁

撮影場所：岩田橋北のビル屋上から南側

昔（昭和初期）

今（平成２２年）

　大きく様変わりしています。古い写真の奥に見える工場は、東洋紡績津工場で大きな規模を誇っていました。昔の国道２３号線沿いには綺麗に切妻平入りの建物が並んでいたことが分かります。

t -040
提供者：吉川仁

撮影場所：岩田橋北のビル屋上から東側

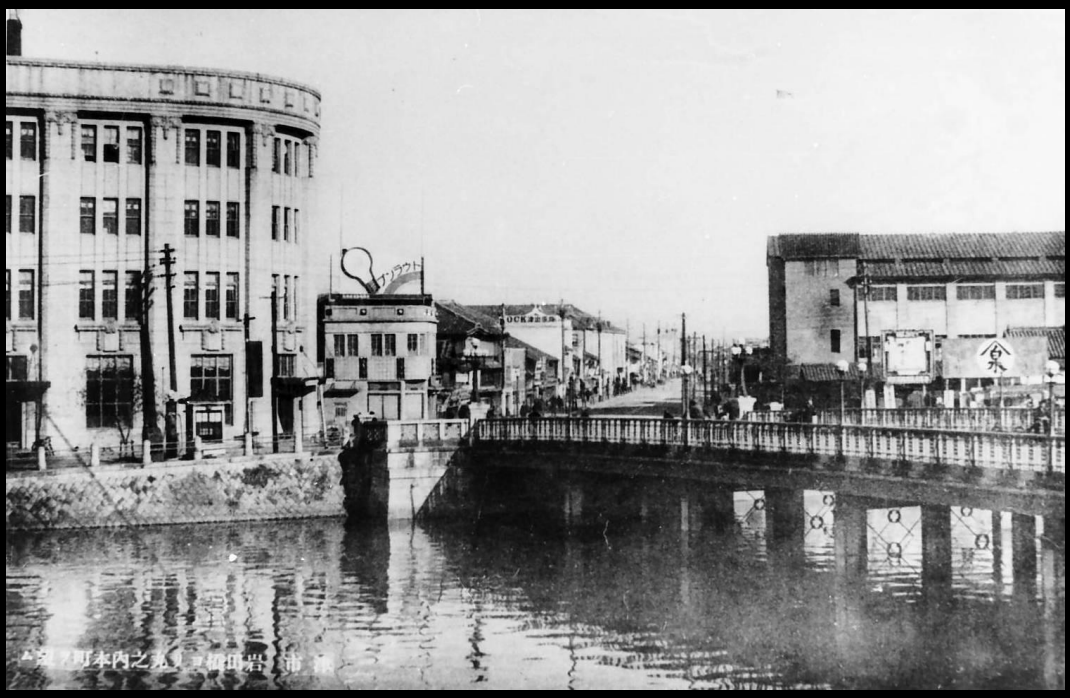
昔（昭和初期）

今（平成２２年）

当時は寺町の方面にまとまった緑が見られますが、今ではほとんど残っていないのがわかります。岩田川には観音橋や阿古木橋などが新たに架橋されています。

撮影場所：岩田橋南詰から北側

昔（昭和初期）



今（平成２２年）

　当時の写真と同じと思われる場所から撮影しましたが、岩田橋の角度も当時とは少し違っている事がわかります。

撮影場所：岩田橋北のビル屋上から北側

昔（昭和中期）

今（平成２２年）

国道２３号線を整備している様子がうかがえます。

t -010
提供者：吉村鏡治

撮影場所：岩田橋から旧岩田橋

昔（昭和初期）

今（平成２２年）

古い写真は岩田橋左岸から旧岩田橋を見た写真かと思われます。岩田橋下流には現在観音橋が架けられ、七夕など季節の行事で市民の皆さんに親しまれています。

t -031
提供者：吉川仁

撮影場所：贄崎海岸

昔（昭和中期ころ）

今（平成２２年）

当時は監視台も置かれていたことから、多くの海水浴客でにぎわったものと思われます。現在、堤防は新しくなっています。

t -020
提供者：三輪睦夫

撮影場所：贄崎海岸

昔（昭和中期ころ）

今（平成２２年）

　のりそだが並ぶ海岸であったことが分かります。灯台の位置から当時の撮影場所を推測しましたが、現在はなぎさまちが完成し港の景観が生まれています。

t -028
提供者：三輪睦夫

撮影場所：贄崎海岸

昔（昭和中期ころ）

今（平成２２年）

当時はテトラポットが並ぶ海岸でしたが、海の玄関口としてなぎさまちが整備されたことにより、新たな海辺景観が形成されています。

t -030
提供者：三輪睦夫

撮影場所：塔世橋付近

昔（大正時代）

今（平成２２年）

現在の橋と比べると旧々塔世橋の写真になります。現在の塔世橋とは少し違う角度で橋は取り付けられていました。橋のたもとの柳が風情を感じさせています。現在は別の木が植えられています。

撮影場所：塔世橋付近

昔（昭和初期ころ）

今（平成２２年）

前述の柳の木も見られます。蔵だけが当時と変わらず残されています。

t -033
提供者：吉川仁

撮影場所：塔世橋から南向き

昔（昭和初期）

今（平成２２年）

上の写真は昭和８年に完成した旧塔世橋です。現在の塔世橋は道幅が大きくなっています。橋上の街灯が時代を感じさせてくれます。同じデザインの街灯が今も橋のたもとに設置されています。

撮影場所：塔世橋付近の安濃川

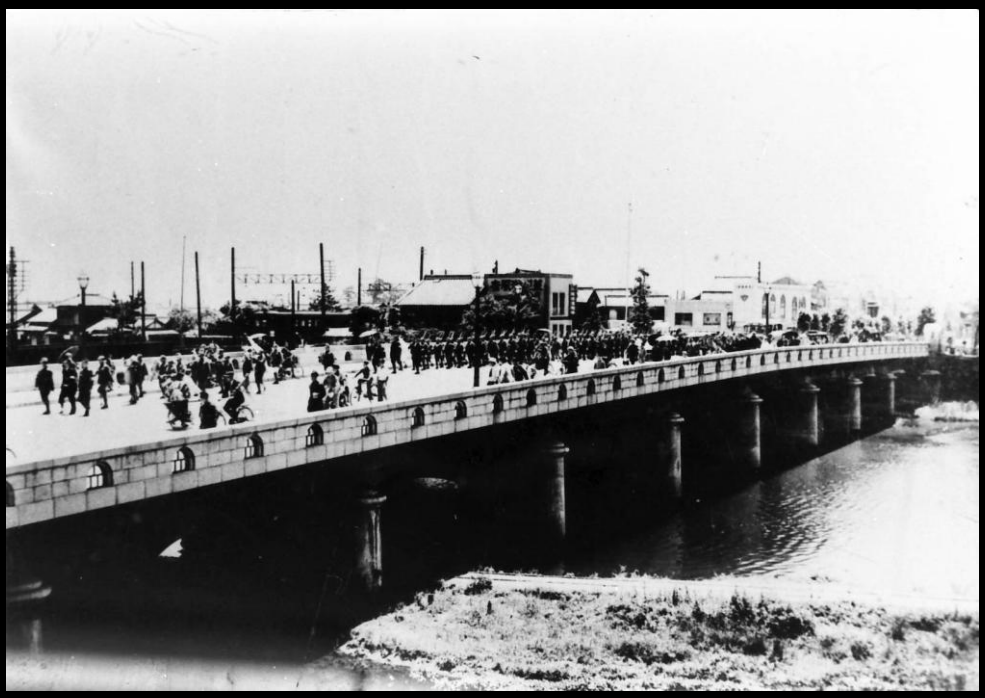
昔（大正時代から昭和初期ころ）

今（平成２２年）

古い写真は旧塔世橋（昭和８年完成）がまだ出来ていないことから、大正時代後期から昭和初期のものと思われます。右岸左岸ともに大きく変化している中で、右岸の塔世橋たもとにある蔵は今も変わらない姿を見せてくれています。また、塔世橋の向こうに伊勢電気鉄道の橋脚も見えています。

撮影場所：塔世橋

昔（昭和初期ころ）



今（平成２２年）

旧塔世橋は石造りのモダンな橋であったことが分かります。当時の欄干は戦争による爆撃の跡を残していたため、その一部が橋の南側に移設され保存されています。

撮影場所：県庁前

昔（昭和中期ころ）

今（平成２２年）

県庁へ至る道は、現在とは道路形状が違っていました。県庁周辺も県議会棟の建て替えや、県庁前公園の整備などが行われて変化しています。

撮影場所：津偕楽公園前

昔（昭和初期）

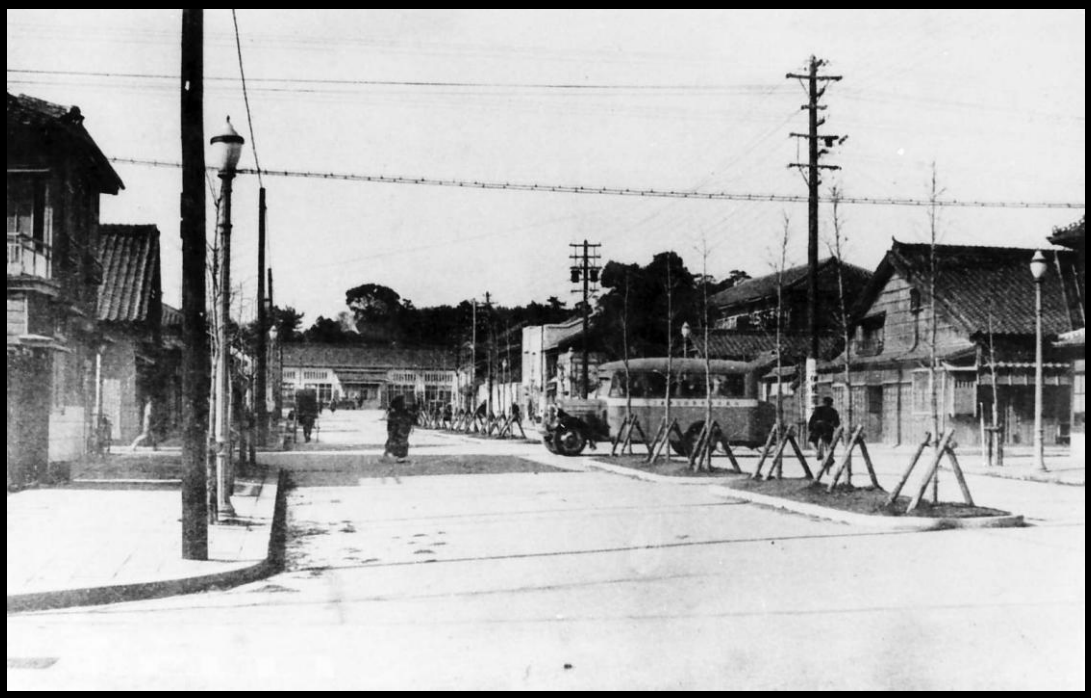
今（平成２２年）

当時の建物は関西府県連合博覧会の名残で、三重県商品陳列館という建物でした。現在は県立博物館（休館中）が建っており、博物館前のメタセコイヤは、博物館と共にこのＴ字路のシンボルになっています。

t -035
提供者：吉川仁

撮影場所：津駅東口

昔（昭和中期）



今（平成２２年）

当時は木造の建物が立ち並んで、さぞかし空も広く感じたことでしょう。現在の駅前にはアスト津をはじめ高層ビルが林立して、都市的な景観を見せています。

撮影場所：津駅東口

昔（昭和中期ころ）

今（平成２２年）

なまこ壁で親しまれた津駅舎は昭和４８年に新しい駅ビル「チャム」に生まれ変わりました。前後して、駅前のロータリーや広場が整備され、現在のような形となりました。

撮影場所：津駅東口

昔（昭和後期ころ）

今（平成２２年）

チャムの工事中にはまだ駅前ロータリーは出来上がっておらず、駅前には旅館がありました。

撮影場所：江戸橋

昔（大正時代）

今（平成２２年）

　津藩主の参勤交代の折に、この橋まで見送りに来たことが由来という「江戸橋」。現在も木製の欄干によって往時の雰囲気をとどめています。

撮影場所：岩田池

昔（昭和初期）

今（平成２２年）

　岩田池のほとりには軽便（中勢鉄道）の線路が見えます。現在鉄道敷は岩田池公園の一部となり、野鳥観察や四季折々の花などにより、市民の皆さんの憩いの場所となっています。

撮影場所：東雲寺より南東

昔（昭和後期ころ）

今（平成２２年）

　東雲寺周辺は高低差があるため、昔から眺望のいい場所として地域の人に親しまれています。かつて広がっていた農地も現在は見渡す限り建物で埋め尽くされています。

撮影場所：雲出伊倉津口

昔（昭和後期ころ）

今（平成２２年）

　田園であった沿道には、看板類やコンビニが建設され、住宅や店舗に必要な送電線や電柱も増設されるなど周囲の景観は大きく変わってきています。

撮影場所：一身田寺内町　常盤橋付近

昔（昭和６３年頃）

今（平成２２年）

　環濠沿いにはかつて、立派な蔵が立ち並んでいましたが、老朽化や家の建て替えに伴い徐々に減少してきています。

撮影場所：一身田寺内町　常盤橋付近

昔（昭和初期）

今（平成２２年）

環濠沿いにはかつて、蔵などが立ち並び、映画のロケなどが頻繁に行われるほどのロケーションでした。環濠には手すりもなくだれでも降りることができたことが分かります。

t -０８６
提供者：辻敬太郎

撮影場所：一身田　橋向のまちなみ

昔（昭和 49 年頃）

今（平成２２年）

一身田寺内町の黒門の南に古くから形成されたこの地区にも歴史的なまちなみをみることができます。この辺りは３５年近く経つ今も、街灯が改修されている以外はほとんど変わることなく当時の姿を残しています。

撮影場所：一身田寺内町　釘貫門付近

昔（昭和 49 年頃）

今（平成２２年）

　専修寺山門の正面に位置する旧伊賀屋旅館は往時の姿がそのまま残っていますが、周囲の建造物は建て替わってきています。

撮影場所：一身田寺内町

昔（昭和４９年頃）

今（平成２２年）

　写真右側には、銀行の店舗がありますが、現在では寺内町のまちなみの景観に配慮された瓦葺の店舗となっています。